

数学学習用動画コンテンツの提供

高校数学III・Cの要点と金融分野で必要な数学の知識を学ぶ機会を提供します。



国際金融プログラムでは、大学での学びをスムーズに進めるために、高校数学III・Cの内容を復習・補強する動画教材を提供します。この教材は、微積分や極限といった大学での数理的な科目で必要となる基礎数学を分かりやすく解説しており、高校で学ばなかった方や予備知識に不安のある方に最適です。自分のペースで学習できる動画形式を採用し、基礎力を着実に身に付けられる内容となっています。この補助教材を活用することで、大学の数理的な専門科目への理解を深めることができます。

プログラム参加者の声

2024年度前期 ビジネス英語Level I
参加者アンケートより 回答対象者20名

Q 受講を終えて、「ビジネス英語Level I」の満足度を教えてください。

やや満足 5%



満足 95%

Q 受講して良かったと思う点を教えてください。

英語を使ったグループワークが多く、楽しく受講することができた。

英語のみの講義のおかげでリスニング力も高まった。英語を話すことへの抵抗も軽減されたので良かった。

周りの生徒の英語力の高さに触発されて、もっと英語の勉強を頑張ろうと思えた。

英語のハードルが下がった。

英語力維持に良い。

Q 国際関連業務に従事するために必要とされるビジネスに関連した英語力のレベルアップにつながったと思う点を教えてください。

ビジネス会話でのふさわしい言い方や、言葉のニュアンスの違いを学ぶことができた。

英語で自分の考えを発表することにより、会話力や表現力の向上につながったと感じた。

実際のビジネスの場では受動ではなく、能動的に話すためその力がついた。

ビジネスで用いる様々な表現のバリエーションを得られた。

※本プログラムの詳細は、東京都立大学経済経営学部のホームページをご覧ください。<https://www.biz.tmu.ac.jp/>



2025
年度

東京都立大学
経済経営学部

未来のリーダーを育成する

経済経営学部の新プログラム

国際
人材
育成

特別プログラム

グローバル化の進展に伴い、海外の経済政策や国際情勢の変化は、為替レートを大きく変動させ、日本経済やビジネス界に大きな影響を及ぼしています。このような状況下においては、国際金融の動きを理論的/実証的にしっかりと勉強し、英語を使って海外とのビジネスで戦える人材を育成することが急務となっています。

東京都立大学経済経営学部では、経済・経営の基礎とその実践を、英語力の強化とともに学ぶことができる国際金融人材育成特別プログラムを2025年(令和7年)4月に開始し、2026年(令和8年)3月に最初の修了生を輩出する予定です。本プログラムでは、経済・経営分野のミクロ・マクロ理論、統計・計量分析の手法を学び、データ分析を自分で行える基礎知識を学習し、さらに、国際金融の政策や実務を実際に担当してきた専門家の講義を聞くことで、理論と実践を結び付けられる人材育成を目指します。

※本プログラムの内容は今後変更されることがあります。



Special Program: International Finance Career Development

国際金融人材育成 特別プログラム

国際金融人材を育成する新たなプログラム

2025年度に開講する本プログラム対象科目の一部を紹介します。
既存の学部科目を体系化することに加え、以下の科目を開講します。



本学特任教授
慶應義塾大学名誉教授

吉野 直行

国際金融の実務・政策1,2

為替レートの変動、海外/日本の株価の変動は、どのような要因により引き起こされるのか、国際金融の理論を用いて、基礎知識を前期に修得します。後期には、国際金融を取り巻くさまざまな政策と実務について、実際に政策を担当された方々、経験を積んだ実務家の方々を講義にお招きし、実務面についての知識を修得します。



本学特任教授
青山学院大学名誉教授

北川 哲雄

サステナブルファイナンス

サステナブルファイナンスの隆盛化の背景、企業行動の変化、経営者リスクの増大、機関投資家のエンゲージメントの巧拙、新しいファイナンスツールの開発、社会モニタリングの連鎖、新しいプレイヤーの出現といった問題まで広げて論じたいと思います。

ビジネス英語 Level I, II

国際関連業務に従事するために必要とされるビジネスに関連した英語を身に付けることを目標とし、リスニング力の向上と適切な表現を用いた会話力の向上に焦点をあてた授業を行います。質問、ロールプレイ、ディスカッション、プレゼンテーションを通じて会話の練習を行います。

前期開講のLevel IはCEFR:A2～B1、英検2級程度、後期開講のLevel IIはCEFR:B2、英検準1級程度の学生を対象とします。

NSEの講師

金融の専門知識とビジネスレベルの英語力を持った
高度金融人材の育成を目指して

国際金融特別講義

International Business and Economics 1,2

“International Business and Economics”は、日本人学生に長年教えてきた経験を生かし、すべて英語で講義される科目です。講義の第一の目的は、国際経済や国際ビジネスの動きが、地政学的な環境、経済理論、法制度、さらに、それぞれの国の文化によって大きな影響を受けていることを勉強することです。第二の目的は、英語力を向上させ、さまざまな経済活動/ビジネス行動において、自分の考えを英語で発信できる力を養うことです。英語の講義を聞き、文献を英語で読み、自分の意見を講義中に発信し、学生同士が英語で議論を展開できる力を付けることが重要です。1と2の講義を続けて聴講することを希望しています。



Michael Lacktorin

(シカゴ大学MBA;慶應義塾大学PhD)
野村証券(M&A); Citibank(M&A)

国際証券投資と資産運用 I, II

各寄附元 実務家教員

(日本証券アナリスト協会/三井住友信託銀行)

国際金融、資産運用分野での実務経験を積んだ実務家教員により提供され、理論と実務のバランスを勘案しながら、将来を担う世代が身に付けておくべき基本的な知識を身に付けられるよう設定されます。

「国際証券投資と資産運用 I – 基礎となる理論と実務」は、公益社団法人日本証券アナリスト協会の寄附講義であり、資産の形成や運用に関する基本的な知識を身に付けることを目指します。同協会が認定する各種資格の取得にも対応したレベルを目指します。

「国際証券投資と資産運用 II – 年金を通して学ぶ金融機関の役割」は、三井住友信託銀行株式会社による寄附講義です。銀行業務に実際に触れるインターンシップなどの機会についても設ける可能性がありますが、詳細は授業内で指示します。

Principles and Practice of International Investment Management

この講義では、資産選択(Portfolio Management)の現場をイギリスや日本で体験してきた経験を踏まえ、実際の現場で使われている資産選択の方法を理論と対比させながら、学生に理解してほしいと思っています。講義はすべて英語で行います。

日本は、グローバルな金融資産の運用成果では、アメリカやイギリスに大きな遅れを取っています。実際のマーケットの動きを見ながら、資産運用の現場で行われている手法を理解し、グローバルなデータを活用して運用成果が上げられる人材を目指してほしいと思います。



Govinda Finn

Sumitomo Mitsui Trust Asset Management, Advisor